

事業所名

はびたむkids

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和 6年

11月

1日

法人（事業所）理念		あせらず、ゆっくり、心の余裕を持ち一人ひとりの心のハッピーな時間を作りましょう 一人ひとりのたくさん出来たを増やし見つけましょう						
支援方針		一人ひとりに寄り添い、気付き細やかな配慮をしていきます 子どもたちの心を育み、笑顔に繋げていく支援をしていきます 一人ひとりの明るい未来で生きていく力を身に付けられるよう支援します						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	一日の生活の予定がある中でどのように過ごせばストレスなく過ごせるようになるのか考えプリントを使用したり、生活リズムと一緒に考えます。荷物の確認、荷物を決められた場所に置くなどチェック表やチェックプリントを見て取り組めるよう工夫します。心の表現方法や体調不良時の伝え方、必要な単語の理解を深めるよう相手に困らずに伝えられるようプリント・本・会話などを利用し施設や家以外でも出来るような意識付けの支援を行います。						
	運動・感覚	バランス感覚や姿勢の保持、身体を動かす際のコツなど複雑な動きを真似たり、全身・部分の身体を動かしながら体幹を鍛え身体を動かすコツや楽しさを感じられるよう支援を行います。						
	認知・行動	相手の話している言葉を点と点で結び行動を繋げられるように短文で言ったり絵や物を使用しながら情報の整理の力を付けられるように支援して行きます。遊びの中で集団活動の簡単なルールを意識しルールを確認しながら負けてしまっても頑張ろう楽しく活動出来るよう環境を説定します。絵カードや実物の物・イラスト・写真を見ながら会話の中で物の名詞を使って行けるように支援を行います。						
	言語コミュニケーション	人と人の適切な距離感また心の距離感などを意識し関われるよう今はどんな距離感だと○。今はどんなことを伝えたと○。など一緒に考えて行きます。「ありがとう・やって・ちょうだい」など簡単なジェスチャーを使用し伝えられるように一緒に簡単なジェスチャーを使用して関わり表現方法を広げられるように工夫します。場面に合った言葉、言葉に自信を持って伝えられるよう、SSTプリントを使用しながら理解を深めて行けるように支援します。						
	人間関係社会性	年上との関わりのなかで、敬語を使う・距離感を保ち関わることを実践していけるよう会話やコミュニケーションプリントを使用し支援を行って行きます。日常生活の中で挨拶・ルール・マナー・感謝・謝罪など社会生活で活躍するスキルを身に付け他者と楽しく関われるよう日常生活の中で必要なやり取りの場面作りをして行きます。楽しく他者と関わりを持てるように遊べる環境や一緒に何かに取り組む環境や見通しを持ち過ごしやすくなるように設定していきます。						
家族支援		苦手な事への向き合い方、時間等の未透視を立てる。上手く出来た方法など実践しやすい方法を伝え情報の共有を図ります。個別面談、グループ（懇談会）の開催をします。			移行支援		学校での支援、併用施設との支援の共有しながら統一出来るよう情報の共有をしていきます。	
地域支援・地域連携		学校訪問。子ども部会の参加。個別のケース検討会のための会議の参加。			職員の質の向上		スキルアップの研修。法的研修（虐待・身体拘束）ケース検討会（スタッフミーティング）	
主な行事等		お誕生会 クッキング お花見 ハロウィンパーティー クリスマス会						